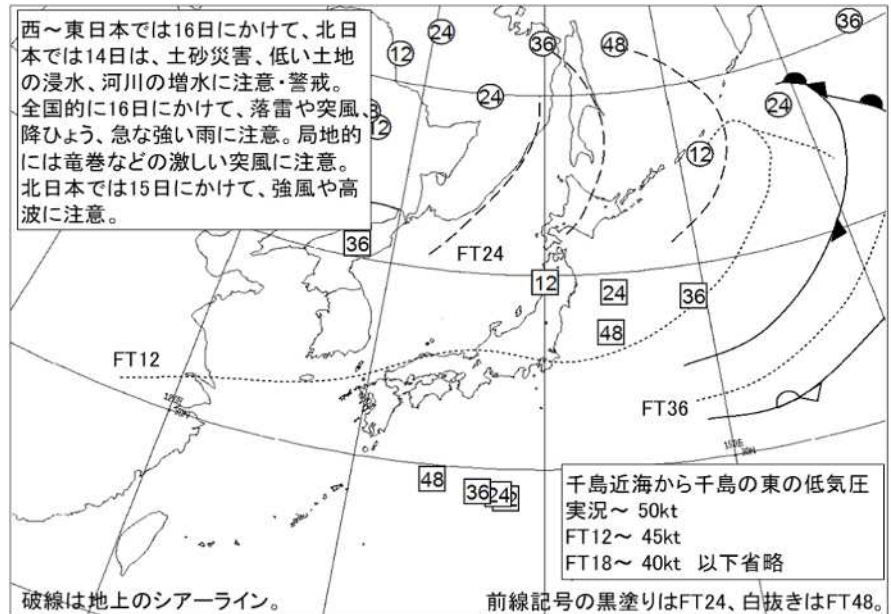


1. 実況上の着目点

- ① オホーツク海には低気圧が
あって、東北東進。低気圧から
前線が東日本～西日本日本海側
へのびる。前線に向かう下層暖
湿気で、西日本では激しい雨を
解析。また、北日本ではやや強
い風が吹き、波が高くしけと
なっている所がある。
- ② 高気圧が日本の南にあって
ゆっくり西へ移動。西～東日本
では高気圧に覆われ気温が上昇
し、猛暑日となっている所があ
る。南西諸島では高気圧縁辺の
下層暖湿気の影響で、雷を検知
し激しい雨を解析。また、日本
海にも高気圧があって、東へ移動。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、14日は千島近海を東北東進し、前線は本州付近を南下する。前線は15日は次第に不明瞭になるが、本州付近は1項②の日本の南と日本海から日本の東へ移動する高気圧との間で引き続き気圧の谷となる。前線や気圧の谷に向かう下層暖湿気と気温の上昇、上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。北日本では14日は、西～東日本では16日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 西～東日本は16日にかけて、1項②の高気圧に覆われ、晴れて気温が上昇し猛暑日となる所がある。熱中症などの健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。
- ③ 南西諸島では、1項②の日本の南の高気圧縁辺の下層暖湿気と、日本の南から南西諸島へ進む上層寒冷低気圧（UCL）の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴った強い雨の降る所がある。南西諸島では16日にかけて、落雷や突風、急な強い雨に注意。
- ④ 15日は、サハリン付近に進む低気圧からのびるシアーラインが北日本を通過する。シアーラインに向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った強い雨の降る所がある。北日本では15日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ⑤ 2項①の前線や低気圧や2項④のシアーライン周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くしけとなる所がある。北日本では15日にかけて、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 波浪(明日まで)：北海道4m。③ 高潮(明日まで)：西～北日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。